



如意ヶ丘

《発行》平成18年12月1日



第10回 関西支部総会／平成18年9月30日

祝10周年



第10回 関東如意ヶ丘同窓会総会／平成18年10月14日

ごあいさつ



同窓会長
林 秀治

同窓会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。去る、8月14日高岡商工ビルにおいて、100余名の同窓諸兄の出席のもと盛大に総会が開かれ、その席上にて会長として再選されました。また、併せて副会長ほか役員を選任し委嘱されました。80周年の記念の年を1年後に控え、その重責に身の引き締まる思いでありますが、母校のさらなる発展のため誠心誠意努力してまいり所存でございます。皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、同窓会では、80周年の記念事業の一環として校門を新しくいたしました。港を臨む伏木高校に相応しく、船を象り、カモメを配した斬新なデザインとなっております。生徒諸君には大きな志を持ち世界に羽ばたいて欲しいものと願っております。さらに次年度には記念誌の発刊を予定しております。長い伝統に培われた伏木ならではの様々なトピッ

クを集約したものといたしたく、皆様の寄稿をお待ちしております。

ご承知のとおり、母校は平成17年度には学科改編により国際交流科として新たな一步を踏み出しました。同窓会では、平成16年度に国際交流推進のために国際教育基金を設立いたしました。同窓諸兄から貴重な篤志をいただいておりますが、後輩諸君の海外語学研修や環日本海諸国をはじめとする交流校との友好やサッカー部の韓国との交流等、様々な交流事業に多大な貢献をいたしております。今後とも更なる充実を図ることを目標にいたしております。引き続きご支援をお願いいたします。

来る平成19年10月5日には高岡文化ホールにて記念式典を予定しております。多くの同窓諸兄のご出席を賜りますことをお願いいたしますとともに、諸兄のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

韓国・中国との交流がスタート



学校長
田中春男

昨年度、本校国際交流科がスタートし、様々な取り組みもようやく軌道に乗りはじめ、生徒たちは生き生きと活動をしています。

7月末、韓国・清明高校の生徒37名が初めて本校を訪れました。歓迎式において、本校は「帆柱起こし祝い唄」の踊りを、清明高校は民謡「アリラン」の歌と踊りを披露し、体育館は一気に友好ムードに包まれました。その後、生徒の家でのホームステイ、学校でのバーベキューなどを行い、お互いに交流を深めました。

この12月20日からは2年生の中国語選択者40名が中国・大連第十二中学を訪問します。さらに3月中旬には、韓国語選択者50名が韓国・清明高校へ、すでに交流があるロシア・ハーモニー校へ18名、アメリカ・ビショップ・ルアーズ高校へ21名、また交流試合のためにサッカー部23名が韓国へと出かけます。

平成18年度は、本校にとって誠に意義深い年となりました。これもひとえに関係諸氏のご尽力の賜と深く感謝申し上げます。

4月に着任以来、本校同窓会の結束力の強さ、特に80周年を目前に控えての林会長さんをはじめ役員の方々の献身的な募金活動には頭が下がる思いであります。とりわけ、今後10年間、生徒の国際交流活動のために援助をいただくことになる国際教育基金の設立にあたり、同窓会の皆様よりひとかたならぬご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

また、関東・関西の如意ヶ丘同窓会は今年10周年を迎え、記念総会にご招待いただき出席いたしました。関西ではアットホームな雰囲気の中、皆でカラオケを楽しみ、関東では卒業生の歌手・浜陽子さん熱唱の「越中おわら」に踊りの輪が広がり、どちらも母校と故郷を思う熱い気持ちに打たれて帰って参りました。

終わりにになりましたが、如意ヶ丘同窓会の今後の発展と会員各位のご健勝を祈念するとともに、母校に対しまして変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

総会報告

懐かしの面々に笑顔こぼれる

伏木高校如意ヶ丘同窓会

伏木高校如意ヶ丘同窓会総会は8月14日、16時より高岡商エビルで開催された。

林秀治会長が開会の挨拶、田中春男校長が学校の近況を報告した後、関東如意ヶ丘同窓会の酒井敬司氏(会長)と関西支部の鶴谷正昭氏(幹事)に挨拶をいただいた。議事は議長を兼務した林会長によって進められ、全ての案件について満場一致で承認された。役員改選では、林会長、山本勇喜雄監事、牧野貞夫監事の再任が決定し、会長より副会長15名が委嘱された。

続いて、生徒によるアメリカ語学研修と韓国スポーツ交流についての報告があり、国際交流活動を通して頼もしく成長している後輩たちに、会場から盛大な拍手が送られた。

その後の懇親会は、林会長と同窓会顧問の横田安弘氏(前県議会議員)の挨拶・乾杯で始まり、終始明るく和やかな雰囲気の中で進んだ。最後は伏木商業、伏木高校の校歌を大合唱した後、盤若進二氏(高岡市議会議員)の万歳で締めくくられ、懐かしの面々に賑わった懇親会は、盛会のうちに幕を閉じた。
(事務局報)



■本部役員

会長	林 秀治(北高8)
副会長	本元 千智(北高6) 戸沢 克行(伏高10) 高井 逸朗(伏高13) 山下 利一(伏高15) 牧 亨(伏高16) 嶋 安夫(伏高17) 神島 高志(伏高17) 山口 正志(伏高18) 佐野 邦明(伏高21) 宇加江 隆(伏高23) 小泉 哲二(伏高26) 島田 博司(伏高27) 松嶋 浩二(伏高31) 数田 昭久(伏高34) 宮越 一郎(伏高40)
監事	山本勇喜雄(北高7) 牧野 貞夫(伏高10)
顧問	山下 和夫(北高3) 中尾 正(北高6) 横田 安弘(伏高13) 盤若 進二(伏高20) 石須 大雄(伏高38) 田中 春男(校長)

■関東如意ヶ丘役員

会長	酒井 敬司(北高6)	事務局長	山岸 清(伏高17)
副会長	丸山 彩子(北高3) 榎 靖子(北高6) 深原 明(北高7) 川 善市(北高8) 金子 京子(北高8) 潮見喜 八郎(伏高11) 米田 清治(伏高11) 林 尚武(伏高12) 脇本 信廣(伏高12)	会計長	北山 雅子(伏高14)
常任幹事	能見 正子(北高6) 鶴谷 浩二(北高9) 四日 哲夫(伏高15) 中澤 隆範(伏高26)	会計監査	岸 晴夫(伏高17)
		顧問	根木 佐明(伏商6) 泉田 健夫(伏商10) 正和勝之助(伏商10) 清水 正(伏商13)



■関西支部役員

支部長	麦谷 実(伏商9)	会計監査	奥 誠三(北高7)
副支部長	本元 憲明(北高1)	幹事	秋常 陽一(北高6) 青木 勝栄(北高6) 鶴谷 正昭(伏高16) 山岡 巖(伏高16) 島田 正人(伏高17)
事務局長	高田 昌彦(北高6)		
会計	秋元 研三(北高1)		

関東如意ヶ丘同窓会より

副会長 川 善市 (北高8回卒)

第10回関東如意ヶ丘同窓会総会は、爽やかな秋晴れのもと平成18年10月14日(土)千代田区平河町「ルポール麹町(麹町会館)」エメラルドの間にて開催されました。

定刻正午に榎副会長の開会宣言により総会は始まりまし。第1部の司会進行は、川副会長が担当し逐次進められました。酒井会長が挨拶に立ちご来賓、出席会員への謝意と新生「関東如意ヶ丘同窓会」への熱き思いが語られました。

議事に移り、会則の変更・修正と新役員の補選が提案され、新役員として岸会員が新監査役として会長より指名があり承認されました。続いて平成17年度事業報告が山岸事務局長から、会計報告が北山会計長から、監査報告が岸監査役から、次年度計画が山岸事務局長からなされ、それらはすべて全会一致で承認されました。

引き続きご来賓挨拶に移り、東京富山県人会連合会稲葉副会長様からは富山県人会連合会の動き、富山県東京事務所柴田所長様からは富山県の近況、本部同窓会佐野副会長様からは本部同窓会の動向などを励ましのお言葉とともにお聞かせいただきました。そして田中学校長先生からは、来秋に控えた創立80周年記念行事・事業達成へ向けての意気込みを熱く語っていただきました。

第2部の司会は深原副会長により進められました。昭和15年卒泉田顧問の乾杯の発声で懇親会はスタートしました。冒頭、司会者から出席ご来賓の紹介があり、5テーブル着席スタイルでの落ち着いたムードでの交歓が各テーブル毎に始まりました。同窓会員でもあるプロ歌手浜陽子さんの歌唱に聞きほれ、お得意の「越中八尾おわら節」では、歌にあわせて会員有志一同の飛び入り輪踊りも披露され会が一気に盛り上がりました。

和やかなうちにも終宴を迎え、母校伏木商業学校と伏木高等学校の校歌を全員で唱和ののち、前支部長清水顧問(昭和17年卒)と田中学校長の音頭による万歳三唱があり、林副会長の閉会の挨拶をもって会は滞りなく終了いたしました。北日本・富山両新聞社から寄贈の当日の朝刊とふるさとの銘菓を手にとり散会いたしました。

当日は会員32名ご来賓10名計42名の集まりでした。ご来賓各位の氏名は以下の通りです。(敬称略)

- | | | | |
|------|------------|-----------|-----------|
| [会員] | 泉田健夫(15年) | 清水 正(17年) | 古草芳雄(18年) |
| | 水牧勝美(21年) | 番井一郎(26年) | 丸山彩子(26年) |
| | 籠浦篤子(26年) | 酒井敬司(29年) | 榎 靖子(29年) |
| | 能見正子(29年) | 深原 明(30年) | 川 善市(31年) |
| | 金子京子(31年) | 堀 春美(31年) | 作道浩一(33年) |
| | 潮見喜一郎(34年) | 能町 宏(34年) | 南 龍夫(34年) |
| | 林 尚武(35年) | 北山雅子(37年) | 中町 弘(38年) |
| | 金山仁子(39年) | 岸 晴夫(40年) | 山岸 清(40年) |
| | 良峰俊治(42年) | 中沢隆範(49年) | 河原一郎(49年) |
| | 中村佳代子(49年) | 光山信一(51年) | 宮沢正美(53年) |
| | 麦谷陽子(53年) | 浜 陽子 | |

[来賓] 東京富山県人会連合会副会長稲葉伸也、同 常務理事亀遊 章、富山県東京事務所長柴田敏秋、富山と東京池田貞幸、富山県人社大野昭臣、北日本新聞東京支社部長串田裕、富山新聞東京支社主任宮本亮久、如意ヶ丘同窓会副会長佐野邦昭、同 副会長宮越一郎、伏木高等学校校長田中春男 以上



交友の輪を広げる
関東如意ヶ丘同窓会
副会長川善市
関任在任の伏木商業学校卒業生としての同窓会活動の熱意を語り、新役員として岸会員の指名があり承認されました。続いて平成17年度事業報告が山岸事務局長から、会計報告が北山会計長から、監査報告が岸監査役から、次年度計画が山岸事務局長からなされ、それらはすべて全会一致で承認されました。

関西支部より

事務局長 高田昌彦 (北高6回卒)

10年ひと昔といいますが設立総会から10回目の支部総会を本年開催できましたことは、本部如意ヶ丘同窓会のご支援と関西支部会員各位のご協力の賜と支部役員一同感謝しております。

想いおこせば支部結成のきっかけは伏木高校サッカー部が京都府で全国大会に出場し、初めて1勝をあげた記念すべき試合の終了直後でした。

当時の同窓会会長、山下和夫様から主旨説明があり、麦谷実様(現関西支部長)ほか関西在住の3名がその場に居合わせて、これに賛意を表明したところから支部の活動が始まったのですが、ひと昔前が昨日のように思われます。

春には花見の会、秋には紅葉狩り、ハイキングに或いは居酒屋で有志が集い、遠くにありて郷土を思い、母校の変遷や在校生の活躍を語り合ってきました。

節目の本年は10周年記念イベントとして観劇会も催しました。折しも母校の80周年を迎えようとしておりますが、今後も支部会員一同元気に活発に活動をする所存でございますので関係各位にはご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

さて、第10回支部総会は去る9月30日(土)大阪は北区堂島の会場に本部副会長、本元千智様同じく小泉哲二様、学校長、田中春男様をお迎えし和やかな雰囲気の中午前11時過ぎに開会の運びとなりました。

本元副会長の80周年に向けての意気込みも含めた祝辞、田中学校長から母校の特徴を生かした活動の近況と祝辞を頂き、議事進行のあと懇親会に移りました。

乾杯の発声は高校第8回卒の山本美和子(旧姓、河森)様から今後何回もこの会に出席することを楽しみにしたいとの力強いお言葉のあと、全員大声でのカンパイとなりました。やがて伏木商業・伏木高校の校歌斉唱そしてカラオケ・空クジなしのトヤマ名産品争奪ジャンケン大会と続き、飲み放題のため会場はいやがうえにも、おおいに盛り上がったのであります。

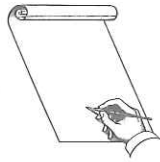
小泉副会長から自身はもとより親類縁者で伏木高校には代々8名がお世話になっているとのお話しに一同感心しきりでした。そして本部および関西支部の発展を祈念しての万歳三唱をリードなさいました。

閉会の挨拶は関西支部会計、北高校第1回卒の秋元研三様からいただき更に母校へのエールがあり最後は「大阪じめ」の手拍子でめでたく散会となりました。

打ちまひよ!! シャンシャン もひとつせ!! シャンシャン
いおうて(祝つての意) 3度!! シャンシャンがシャン



記念観劇会「裸の大将放浪記」芦屋小雁氏を囲んで



高校生時代を振り返ってみて

車谷 博義 (伏高11回卒)

今年8月14日如意ヶ丘同窓会に、野和夫先輩(伏高第8回卒)の勧めもあり、初めて出席させてもらいました。卒業以来47年も経つのに初めての出席とは、他の同窓生にお叱りを斯うかも知れませんが、私自身仕事の関係で全国各地の転勤と出張が多くて知らなかったのが事実です。でも、思い出せない位久しぶりの先輩に会う事が出来て懐かしく思いました。早速、帰宅してアルバムをひろげ当手を懐古しました。在学中に体育館の新築もありました。今ではちょっと考えられませんが、体育館の屋根と外回りしか完成していないのに、勿論床張りもしてなくて土間の上にネットを張ってバドミントン部の部活をした記憶があります。丁度その年は加納先輩(伏高9回卒)がシングルスで富山県チャンピオンになった年でもありました。今年は61回の国体ですが、昭和33年は第13回富山国体が開催されて生まれて初めて広域の人達と多くの友達が出来た記憶も蘇って来ます。もう一つ強く印象に残っているのは、伏木地区全域での商店街スタンプラリーマラソン大会です。全校生徒がそのイベントに参加協力して行事をした記憶も浮かんで来ます。今では当時と環境の変化からみて開催はしていないと思いますが、当時はそのイベントを成功させようと数ヶ月前から準備と作戦で一生懸命だった事も思い出されます。小学生時代は同じ教室のメンバーが6年間ありましたが、中学生時代(伏木中学)は毎年組替えがあり記憶は薄いのですが、高校は同じメンバーだったので思い出も多くその時の級友と現在でも年2~3回ペースで飲み会を続けております。

会社を定年してから6年経ちましたがこの6年間老人ホームのボランティア。少子高齢化が社会問題になっている今日、仲人業も一生懸命しておりますが、結婚を重要視していない若人の多い事には驚かされます。私は一種の我がままです。親の小さい時からの教育・指導にも問題がある様に思われますがこのままでは後100年経つと日本の人口は現在の半分位になりどうなるのか恐い位です。世界における優良民族を続けるならば(少々生意気ですが)現在の20才以下の子供達の教育方針を変える事だと思います。人生は120年生きられる細胞があると云われておりますが、私は回りの人達に迷惑をかけず皆と仲良く自分自身元気でPPK(ピンピンコロリ)をモットーに毎日を過ごすのが生きがいです。同窓会には毎回出席出来る事を楽しみに。



最近思うこと

廣田 實 (伏高12回卒)

今から五十年も昔の事になりますが、私の故郷伏木矢田から毎年春になると桜花爛漫の十間道路を学生服に厚下駄で登下校し、古びた木造二階建の校舎で勉学にスポーツに励んだものです。

少年時代は、鞍馬天狗、七人の侍、姿三四郎等時代ものの映画が大流行し、私もよく映画館に通い主人公になりきって棒切れを振り回したり、組うちなどをして遊んだものです。中学に入学と同時に柔道部に入部し、マンモスこと北川和彦先生に投げられ、どなられ、また投げ飛ばされるという日々の連続で大会では、高陵中学と常に優勝を争っておりました。そして、昭和三十二年四月伏木高校に入学するとライバルであった高陵中学柔道部員五名全員が、入部しているではありませんか。これを見て伏木高校柔道部の黄金時代が到来する予感がし、県下一、あるいは全国制覇も夢ではないと胸をふくらませ、大きな野望をいだいたものです。

当時の伏木高校では、部活動が大変活発に行われており、中でも水泳部は県下でもトップクラスの実力で、夏季国体出場の常連でした。練習も半端でなく、春まだ浅く水の冷たさも厳しい四月上旬、赤フンドシの部員達が凍りつくような水中で水しぶきをあげ、猛練習を重ねる姿に私達柔道部員も大いに刺激を受け、ほころびた畳を毎日講堂の一角に敷き、もうもうと立ちあがる埃もなにするものぞと練習を積み重ねたものです。

いかんせん予定していた指導者が永遠のライバルとなる砺波高校に迎えられ、我が校の柔道部は、指導者がいないという前途多難の船出となりました。集まった部員達が磨かれることもなく埋れ、電車通学部員が一人抜け、二人抜け、三学期には全員が脱落し、おまけに、県民大会が開催された日に選手の一部が常にベスト四入りをしていた野球部の応援に回ったことで柔道団体戦は、無残な敗戦を味わうことになり私は、この悔しさを個人戦にぶつけ健闘し国体の出場権を獲得しました。私一人の秋季国体出場の壮行会がブラスバンド部の演奏と供に盛大に挙げて頂いたことを今でも懐かしく思い出されます。

卒業後の一年間は、いやおうなく法律の詰め込み教育を受け、全寮制とあって早朝六時には起床し、朝けい古、授業での訓練、課外でのけい古と一日三回の訓練に明け暮れたものです。一年後ようやく第一線勤務に配属され、任務を遂行しながら特別訓練員として十三年間全国、中部管区、北陸三県警察官柔道大会の他、全日本柔道選手権大会、信越大会、国民体育大会に七回出場させて頂きました。そして大分国体の折には、旗手として県選手団の先頭として行進させていただいたこと等昨日の事のように思い出されます。

人生の大半をかけた柔道修業から厳しさにたえ、克服善用し、業務に取り組んでこれたと自負しております。「人生感意気」を座右の銘とし、これからの人生も悔いのない日々を送りたいと願っております。



伏高創立80周年の記念に寄せて

高井 政一 (旧職員)

伏木高校創立80周年の記念行事が、平成19年度に行われます。教員として32年間在職、退職して既に24年を過ぎた私にとって、伏木高校が80周年を迎えることは新たな感激であり、忘れられない悲喜こもごもの「思い出」へとつながります。昭和2年に町立の伏木商業学校として創立され、その後、時勢に押されて、学校改編、戦後は高岡北部高校から伏木高校と、校名も変わりました。設置学科の変更、学級数の増減による生徒定員の移り変わり、校舎施設の増改築等、幾多の変遷を経ました。平成17年度より「国際交流学科3学級」の高校として新たな目標に向かって進んでおります。平成19年度、人と同じように、学校も、80年傘寿のお祝いをするには大変喜ばしいことです。

私は、ひょんな機縁で、故栗田喜代治先生の推奨により、昭和25年6月に、商業科教員に採用され、当時の高岡北部高校に着任しました。短期間勤務の積もりでしたが、次年度、直接学級担任となり、4回生を卒業させ、引き続き5回生の担任となるなど、いつの間にか、32年間、伏木高校教員生活に終始しました。現職教員として30周年、40周年、50周年の記念の諸行事の準備に携わった思い出と退職後の60周年を含む70周年その後の学校情報に全くとくなくなったことを痛感しています。

普通科卒業生には授業に出ることもなく、直接の触れあいもなく過ぎたようですが、今でも、新聞紙上その他で、公私に亘り活躍されておられるお名前などを見るのが多く懐かしく、誇らかな思いをしています。商業科卒業の皆様とは授業、クラブ活動、進路指導など相互の話し合いが深まるよう、できる限りの努力をしました。それぞれの思い出はこの紙上で語りつくすことができませんが、未だに数多くの皆様から現況便りやお訪ねを受け、多方面で活躍されていることを知って、楽しく嬉しい思いをしています。

現在の学校の問題ですが、地域的に富山県としても、高等学校の再編成、学校の統廃合が検討されています。毎年、各校の募集定員が学科により増減、変更されることです。中学卒業予定数の増減による需給関係が原因となって、合理的な経営が図られるよう提案されています。私は高校の生徒定員などは、その需給比によって定められるものではなく、その学校の歴史、伝統、特色を基底として定められるべきことと思います。幸いに伏木高校は昭和17年度より普通科・国際流通学科3学級、120名定員の学校として、新しい目標を目指して進んでおります。然し、過去の変遷の経過をふり返ると、将来常に検討の対象とされることが気がかりのことです。

創立80周年の記念を大きな節目として、すばらしい環境のもと、歴史と伝統に基づいた特色ある地域の学校として更なる躍進・発展をするよう、期待しています。



自分の原点

有澤 儀昭 (伏高55回卒・中京大学)

私は伏木高校で学生として、また6月に行われた教育実習でお世話になりました。伏木高校ではほんとうに多くの時間を過ごしました。

学生時代の私は、サッカー部に所属し、毎日グラウンドを走り回っていました。その反面、学生の本業でもある「勉強」が苦手な生徒でした。とりあえずサッカーをやっておけばどうにかなるだろうと思っていた私に厳しく接してくれたのがサッカー部の顧問でもある谷内先生でした。勉強をしない私に対して1ヶ月の間部活に参加させず勉強に集中できるようにして下さった事もありました。しかしそのように厳しく接していただくにつれ自分の為にやってくれているのだと気づく事ができ、自分でもしっかりやろうという気持ちになることができました。他にも私は高校生活の中でたくさんの先生方に迷惑をかけました。そんな私に先生方は多くの事を学ばせてくれ経験させてくれました。そのお陰で自分自身も大きく変わることができたと思います。私も先生方のような教師になりたいと思えるようになりました。

そして6月に行われた教育実習では3週間という短い間で多くのことを学び、体験したいという気持ちがあり大きな期待を持ち実習に入ることができました。今までは生徒として授業に参加していた私が生徒の前に立って授業をするというのは初めてで最初は緊張のあまり全く授業になっていなかったと思います。そんな中、先生方の助言やサポート、生徒達の積極的で真面目な姿勢のおかげで、日にちがたつにつれ余欲ができた教えなければいけないことを教えるのではなく、いかに生徒を惹きつけ楽しい授業をやるかなどを考え授業をやっていました。なかなかうまくはいかなかったのですが少しだけ授業っぽくなったと感ずることができました。実習では生徒に物事を教え、考えさせるという難しさや教師という仕事のやりがいや少しだけ知る事ができたと思います。今後も教員になれるように日々努力し、がんばっていきたいと思います。

私にとって学生時代も教員実習もほんとにすばらしいものでした。生徒のみんなにもたくさんの仲間と出会いすばらしいものと思えるような学生生活を送ってほしいと思います。最後にお世話になった先生方、生徒のみなさん、ほんとうにありがとうございました。

同期会報告

私達の同窓会

鷺北智美 (伏高38回卒)

去る、8月14日の夕刻に同窓会が開かれ、30代最後の年に久し振りに会う友人たちの様相は少し変わり、中には誰かわからないほど立派になっていた人もいた。それでも会話が途切れる事がなく、顔をくしゃくしゃにしながら見せる笑顔も変わらない。先生達も健在なのは何よりだ。

卒業して20年が経ち、みんなの会話は以前より豊富で、本当に高校時代からは想像がつかない。仕事、家庭、今後の目標、そして卒業してからの話など。暮らしの中で『自分はどうかすればいいのか?』と、自身を追い込んでしまう事もあっただろう。しかし、その時々で手探りをしながら迷いながらも、それぞれのスタンスで踏ん張ってきたのである。

みんなと会えて各々の立場は高校生の時とは随分違っていたが、悶々としながらも楽しかった高校生活の延長線上に、今も私達がいるのだと。そしてまだまだ頑張らなければいけないのだと、改めて心に思った。



伏木高校第40回卒同窓会を終えて

宮越一郎 (伏高40回卒)

同窓会の定義をするわけではありませんが、今回久々の同窓会を通じ、初めて仲間の尊さを知りました。「多感な青春時代を過ごした高校生活」を懐かしむ気持ちはもちろんのこと、社会に出て何のしがらみもない仲間とまた会い、盛り上がる事ができるとは何と素敵なことだろうと思いました。平木先生が「私も今会う仲間は高校時代の仲間です」とおっしゃったのも感慨深いお言葉でした。

平成18年8月12日。昭和63年に卒業し、18年経った今そんな尊い気持ちを何人の生徒が持ち合わせているのか、とても期待と不安の入り混じった気持ちで同窓会を迎えました。世話方の苦勞もひとしお、先生方5名をはじめ、308名中70余名の参加者で、ホテルニューオータニ高岡にて盛大に執り行うことができました。話したことの無い人同士でも元々仲良しだった人も、二次会を過ぎても大変な盛り上がりで、みんなの帰りたくない気持ちが伝わってきて、またやろうという気にさせられました。

来年母校は80周年を迎えます。募金の呼びかけにも快く応じてくれた方もいらっしゃいました。同窓会のきっかけはあっても、なかなか成就しないのがよくある話だと思います。今回は人としての成長をまたこの仲間と分かち合い、また長く続いていけばいいなあと思いました。

創立80周年を迎え新たな門出

中間報告

～門柱の美しいリニューアル～

現在の正門門柱は、昭和42、43年の卒業生の寄贈により昭和44年3月に建設されたものです。40年近くたちかなり劣化しているため、創立80周年記念事業として、また国際交流科がスタートした新しい学校の顔として再築することとなりました。

まず、佐野副会長に10の基本デザインを提示してもらい、その中から生徒の投票により1つに絞り、そのデザインを基に新しい門柱の形が決まりました。ピンクの御影石の舟形の上に羽根を広げたカモメをあしらった、伏木にふさわしいものです。金箔入りの校章・校名、黒線の横ラインが映え、国際交流科の高校の船出と飛躍にふさわしいものです。旧の門柱は生徒昇降口に移設され、もっと昔の門柱と並んで生徒の登校を迎えることになりました。

美しい門柱の輝きが失われないよう、いつもみんなで磨き、慈しみたいものです。



カモメは来年度設置予定

創立80周年記念事業

募金のお願い

町立伏木商業学校を前身とする本校は、平成19年に創立80周年を迎えます。この間、卒業生は15,000名を越え、県内外のみならず海外においても広く各界にわたって活躍されており、本校の誇りとするところであります。

創立80周年記念事業といたしましては、門柱の新設、国際交流科の生徒たちの外国語実地研修のための「如意ヶ丘国際教育基金」及び、語学教育機材の充実や体育施設の整備等を図ることを予定しております。

募金活動については、同窓生諸氏並びに本校関係者から広く篤志を募り、現在約1,400万円となりました。皆様のご協力に心から感謝致します。今後は、PTAや地元企業からもご篤志いただける予定ですが、目標の3,800万円に近づくためには、同窓生の皆様からの更なるご協力が必要です。趣旨をご理解のうえ、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。尚、金融関係の振込口座は、下記の通りとなっておりますが、振込用紙が必要な方は、事務局までご連絡下さい。

●富山県立伏木高等学校 創立80周年記念事業募金納入方法について

- ①現金を学校事務局に持参
- ②金融機関に振込
 - 口座名称：伏木高校創立八十周年記念実行委員会
 - ・郵便局 ○口座番号：00770-4-38798
 - ・北陸銀行伏木支店 ○口座番号：5024920
 - ・高岡信用金庫本店 ○口座番号：0840449
 - ・氷見伏木信用金庫伏木支店 ○口座番号：0274967

//// 生徒一人ひとりの自己実現を支援するキャリア教育 ////

将来の自己実現のために

進路指導主事 村中 秀一

「キャリア教育」の推進が話題となっている昨今、本校では、生徒一人ひとりがしっかり自己実現できるよう、さまざまな企画を行い、支援しております。

7月の1、2年生対象の「職業人講話」では、PTAや同窓会の皆様方のご協力を得て、さまざまな職業についての苦労話や生き甲斐などを聞かせていただきました。これは、生徒たちにとってまさに生きた授業で、将来のことを考える上で非常に重要な役割を果たしております。また、例年の「進路講話」に加え、2年生は夏休みにオープンキャンパスを経験し、2、3年生は小論文の演習などを行っております。1年生では、11月上旬に、県内の大学、短期大学への「上級学校訪問」、伏木海陸運送(株)などへの「伏木地区企業訪問」を実施し、国際交流科に学ぶ生徒として、広い視野に立ち、高さをめざした進路選択をしてほしいと願っております。

将来を担う若者の健全な育成のためには、ますます地域や同窓会の方々のご援助をお願いすることになるかと存じます。

今後一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

平成17年度 進路別現役合格者数 (延べ数)

	人数	主な進路先
国公立大学	2名	電気通信・都留文科
私立大学	58名	青山学院・明治・日本・駒澤・帝京・京都学園・関西外語・関西・金沢工業・福井工業・金沢学院・金沢星陵・富山国際・龍谷・大阪商業など
国公立短大	6名	大月短期・県立新潟女子短期
私立短大	31名	富山短期・富山福祉短期・金沢学院短期・北陸学院短期・信州豊南短期・華頂短期 など
文科省管轄外	2名	北陸職能開発大学校・ロシア極東国立総合大学函館校
専門学校	65名	富山県立技術・富山理容美容・石川県立理美容・厚生連高岡看護・高岡医師会看護・高岡市立看護・富山情報ビジネス・富山ビューティーアカデミー富山外国語・富山歯科総合 など

就 職	人数	主な進路先
	12名	富山県警察・自衛官2等空士・(株)島屋・アイシン軽金属(株)・(株)ピューマ・新日軽北陸・ヤヨイ化学工業・竹澤工業 など

部活動報告

Fushiki High School

◆◆◆ 平成18年度部活動の記録 ◆◆◆

〈体操部〉

全国高校総体出場

- 富山県高等学校春季大会体操競技
 女子団体総合 第2位
 男子個人総合 第2位 畠山 直聴(3年)
 男子種目別(あん馬) 第1位 畠山 直聴(3年)
- 富山県高等学校総合体育大会体操競技選手権大会
 男子個人総合 第2位 畠山 直聴(3年)
 女子団体総合 第2位
- 第59回富山県民体育大会
 少年男子跳馬 第2位 畠山 直聴(3年)
 少年男子つり輪 第2位 畠山 直聴(3年)
 少年女子段違い平行棒 第2位 沖崎 悟子(3年)

〈陸上部〉

北信越大会出場

- 第59回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会
 女子円盤投 第4位 村本 恵理(3年)
 女子3000m競歩 第4位 松本 亜樹(3年)
 女子3000m競歩 第5位 辻 弥生(3年)
 200m 第7位 飴谷 良平(3年)
- 第43回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
 400mハードル 第5位 広瀬 武士(1年)
 女子3000m競歩 第6位 吉沢 由紀(1年)
 女子円盤投 第6位 小郷マユミ(1年)
 女子円盤投 第8位 山崎 穂波(2年)

〈ソフトテニス部〉

北信越大会出場

- 富山県高等学校総合体育大会 ベスト16 越原 正朗(3年)
 酒井 拓実(3年)

〈サッカー部〉

- 第85回全国高等学校サッカー選手権富山県大会 第2位

〈吹奏楽部〉

- 第54回全日本吹奏楽コンクール富山県大会 高等学校B部門 銀賞
 第49回中部日本吹奏楽コンクール富山県大会 銀賞

〈琴部〉

- 第18回富山県高等学校文化連盟邦楽演奏会 邦楽部門 最優秀賞

12年ぶり 県選手権大会 決勝進出を果たして

サッカー部主将 松岡マリオ(3年)

私たちサッカー部は新チーム結成時から全国大会出場を目標にがんばってきました。

3月に韓国での交流試合を体験しました。韓国チームは一人一人が技術的に優れ、体力面でもメンタル面でも大きな力の差を感じましたが、学ぶべきことは何かを知り、人間的にも大きく成長できたと思います。

5月の高校総体では準々決勝まで勝ち進み、水橋高校と対戦しましたが、自分たちの力を発揮できず悔いの残る試合となり、結果は3対0の完敗でした。その悔しい思いをばねに、3年生にとっては最後の選手権に向けて、打倒水橋を目標に、基礎練習に取り組みました。暑い夏場の走り込み、きつい練習もチーム全体で乗り越え、メンタル面でも強くなれました。

秋の選手権大会では、初戦から大量得点で勝ったおかげか、チームもまとまり自信もつきました。そして準決勝では楽しみにしていた水橋高校との対決。結果を意識せずに自分たちの力を出し切りリラックスしてプレイすることができ、2対1で勝利し、12年ぶりの決勝進出を果たしました。

決勝戦は11月5日。全校生徒の皆さん、OBの方々、地元の方々の皆さんが応援に来てくださり、真っ赤に彩られた観客席からは絶え間ない力強い励ましの声がかどまし、私たちは大きな力をいただきました。試合では先に失点してしまいましたが、すぐに気持ちを切り替えて、前半25分で長谷川がシュートを決め同点となったときは身体が奮い立つほど感動し、夢に大きく近づいたことを実感しました。しかし、後半残り5分での失点を許し、2対1の残念な結果となりました。

負けはしましたが、最後まで諦めずに自分たちのサッカースタイルを貫くことができたことは満足でした。3年間一緒に戦った仲間たち、応援してくれた家族、先生方、これまで私たちを支えてくださった多くの方々へ感謝しています。本当にありがとうございました。

◆国際交流事業

伏木高校が国際交流科単独校となって2年目になりました。他校と大きく異なる特徴は2点あります。1点目は、全生徒が第2外国語として、露・韓・中のいずれかを選択して、1年次には週1回、2年次には週3回、3年次には週2回学ぶことです。2点目は、その選択した第2外国語の国にある交流校か、アメリカの姉妹校かのどちらかを実際に訪問し、ホームステイを中心とした体験を重視した交流活動を実施することです。また、こちらから行くばかりではなく、交流校側からの代表団が伏木高校を訪問することもあります。実際、平成18年度は韓国の清明高校から37名、ロシアのハーモニー校から5名の生徒が来校し、ホームステイをして、授業や学校諸行事に参加したりしました。

これらの2点は全国的に見てもきわめてまれな実践例であり、伏木高校が誇りに思えることです。そして、この国際交流事業を実施するにあたっては、如意ヶ丘同窓会の国際教育基金より多額の資金援助をしていただいておりますことに対し厚く御礼申し上げます。実際、海外訪問の際には生徒1人につき、その基金から1割程度の補助をいただいております。保護者からも大変感謝されております。同窓会員の皆様には、本校の特徴である国際交流事業のためにご支援を賜りますようお願いいたします。

今号では、韓国の清明高校からの来校と、第9回米国姉妹校語学研修について紹介したいと思います。

韓国清明高校訪問団来校

7月26日(水)～30日(日)までの4泊5日の間、生徒37名、校長先生を含む教員4名が初めて来校されました。生徒はすべて本校生徒の家でホームステイをしました。清明高校はソウル近郊の京畿道の水原市にある全校生徒数約1,800名の進学校です。朝8時から夜10時まで授業があります。今回来校した生徒の殆どは流ちょうな英語を話しました。中には日本語を学んでいる生徒もいました。



国際部主任 浜木 健 繁

体育館で歓迎式をした際には、互いの校歌を紹介した後、清明高校は学校と韓国の伝統衣裳の紹介、ダンスを披露されました。和やかな雰囲気の中、良い交流校であることを確信しました。滞在中は、歓迎式のあと授業に参加し、高岡市内見学、県内の企業・大学訪問、PTA主催のバーベキュー等盛りだくさんの内容で歓迎をしました。

初めての経験であるためどうなるか心配しましたが、高校生同士国を越えた友情を育む良い機会であったと思います。3月には本校から韓国語選択者約50名が清明高校を訪問し、ホームステイをさせてもらうことになっており、今から楽しみにしております。

第9回米国姉妹校語学研修

3月18日(土)～28日(火)まで10泊11日の間、高岡市と姉妹都市関係にあるインディアナ州ファートウエイン市にあり、姉妹校であるビショップルアーズ高校を訪問しました。第1回から8回までの訪問は、例年8月に実施されていましたが、国際交流科として生まれかわった伏木高校が毎年訪問を実施するために、今後は3月に実施することになりました。3月訪問のメリットはなんといっても事前研修に時間が十分とれることです。11月から週に1回事前研修ができたことは大変良かったと思います。

ホームステイをして授業に参加し、英語づけの1週間を送りリスニングの大切さを痛感して新たに英語学習に対する意欲を燃やしました。

その後はニューヨークを2泊3日で訪問し、自由の女神、メトロポリタン美術館、ミュージカル「オペラ座の怪人」、自然史博物館、国連等を訪問しました。

このような充実したプログラムが来年3月には10回目を迎えることが出来るのもひとえに如意ヶ丘同窓会の会員各位のご支援のたまものだと思っております。今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。



INFORMATION

- ①寄稿の件 本会報に掲載する原稿を募集致します。(学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話等)皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたく思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いします。
- ②会報広告の件 会報広告を募ります。皆様方のご協力をお願いします。
- ③如意ヶ丘グリーン会参加者募集 毎年4月第2土曜日
- ④学校のホームページと同窓会のメールアドレスです。ご利用下さい。
ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/> メールアドレス dousoukai@fushiki-h.tym.ed.jp
- ⑤来年度の総会を8月14日(火)に予定しています。

受付窓口 富山県立伏木高等学校 事務局 TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707

編集後記

会報第12号をお届けします。

今回の寄稿欄には、教員生活の全てを伏木高校で送られた高井先生をはじめ、同窓生の方々に様々なお話を語っていただきました。この場をお借りし、心から感謝申し上げます。

来年は、いよいよ80周年を迎える年になりますが、現在、10月5日(金)に高岡文化ホールにて記念式典を挙行し、その後桑山紀彦氏(精神科医)を中心とした「地球のステージ」の講演を予定しております。多くの会員の皆様にご鑑賞いただければ幸いです。